

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント
1	60	健康増進課	健康づくり推進員協議会補助金	伊藤会長	A	B	A	B	A	A	市民生活にとって、「健康第一」はいうまでもなく、市にとっても医療関係費・介護費用等の負担軽減に役立つ。
				山口副会長	B	C	B	B	C	B	「健康都市宣言」の一環としての当該事業を通じた市民の健康づくりは、必要な事業と理解。しかし、健康づくり推進員が直近で21名（定員50名）と少ないこと、また、活動実績もやや停滞気味に見える。公平性の観点からもより一層の事業改善を期待。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員							
				前田委員	B	B	C	B	B	B	答申無視。改善の意欲が無い、改善の余地あり。別途少額補助金を検討すべき。
				松本委員	A	A	A	C	B	B	健康都市宣言している当市としては、本政策を重視する必要がある。
				西村委員	A	B	A	B	B	B	高齢化世帯や独居世帯の増加傾向の中で市民の食生活改善普及、健康づくりに地道な活動を続けているが、財源は補助金依存度が高く、活動も固定化、マンネリ化にある。今後とも、事業委託等について改善にむけて検討の余地はある。
2	63	リサイクル推進課	ノーレジ袋エコポイント付与助成金	伊藤会長	A	A	A	A	-	A	リサイクル・資源保護は「持続的成長」にとって不可欠で、重要度が高い。
				山口副会長	A	A	B	B	B	A	事業としての趣旨・目的は理解できる制度。ただ、創設間もない制度であることから、評価については、一定期間経過後の評価が妥当と見られる。（市として一定段階での市民意見等の把握を期待）
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員							
				前田委員	A	A	A	A	A	A	22年答申A評価。23年「ながボン」などもあり、妥当。
				松本委員	A	B	A	B	B	B	政策としては良いが、加盟店を近隣市にも拡大しないと失敗する。
				西村委員	A	B	A	B	B	B	平成22年度新規事業。ゴミ減量・石油資源消費抑制ひいては地球温暖化の抑制を図らんとするもの。商業協同組合、ながボン加入者が市内広域に分散しており、まだ市民に浸透するまでに至っていない現状と見受けられる。継続としこれからの実績・効果を見守りたい。
3	64	リサイクル推進課	再生資源物回収事業奨励金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	リサイクル・資源保護は「持続的成長」にとって不可欠で、重要度が高い。
				山口副会長	A	B	A	A	B	A	事業内容からも市民にとって必要な事業と見られる。ただ、近隣市の同種の奨励金と比較すれば割高のようであるので、事業の推進に当たっての一層の改善・工夫を期待。（対象事業者の選定方法や奨励金単価の妥当性の検討など）
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員							
				前田委員	A	A	A	A	A	A	20年妥当。引き続き妥当継続。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	市・委託業者 - 自治会が円滑に運営
				西村委員	A	A	A	A	B	A	ゴミ減量・資源の有効再利用に寄与している。民間企業への支援でもあり、今後とも適正価格の維持に努めることとし、継続はやむを得ない。
4	2	企画政策課	国際交流協会活動事業費補助金	伊藤会長	A	C	A	C	B	B	20年長期継続の効果や、語学講座への補助に疑問はあるが、本協会自立は必要。
				山口副会長	A	B	B	B	A	A	23年度限りの補助。今後は市からの委託事業（プロポーザル方式）に変更することは、一定見直しがなされたものとして評価。今後は、委託事業として一層の成果が上がることを期待。
				柴委員	B	C	C	C	C	C	活動と効果が目に見えてこない
				廣田委員							
				前田委員	A	A	A	A	A	A	妥当。引き続き継続
				松本委員	A	A	A	B	B	A	運営経費の一部を補助しているが、H24の自立化までの補助故仕方ない。
				西村委員	A	A	A	A	B	A	平成23年度は継続。（H22～23年度予算増加は事務局移転等によるもの）平成24年度から業務委託に移行の予定。（補助金打ち切りとなる）
5	3	人材育成課	職員互助会補助金	伊藤会長	A	B	A	A	A	A	労働者（職員）保護、人材育成、福利厚生等の点から必要。
				山口副会長	B	B	A	A	B	A	個々の市職員のモチベーションを維持することは、ひいては市民サービスの向上にもつながることから極めて重要なことと見られる。市職員の現状（職員数の削減や給与等の削減など）に鑑み、当該福利厚生への一定助成は必要とも理解できる。助成額も近隣市等との比較ではむしろ少額の助成となっていることから、補助事業としての継続はやむを得ないものと思料。
				柴委員	C	C	C	B	C	C	市の補助金を入れる必要性を感じない
				廣田委員							
				前田委員	B	B	A	B	B	B	答申無視。福利厚生事業は必要、自主財源もあり、改善の余地あり。
				松本委員	A	A	B	B	B	B	福利厚生制度として必要性は認めるが、事業内容が不透明である。
				西村委員	A	A	A	B	B	A	市職員で構成する互助会。市職員の福利・健康増進等を図る必要性は認められる。事業については常に民間企業等とのバランスが求められる世情、より効率的・効果的な事業内容となるよう福利厚生・保健・元気回復等について研究・見直しの余地はある。
6	5	コミュニティ課	地域まちづくり協議会補助金	伊藤会長	C	C	C	D	-	C	「適正化実行プラン」では、具体性・費用対効果が見えてこないし、公平性も不透明。
				山口副会長	B	B	C	C	C	B	補助金の新設段階では評価の補助金。政策目的については一定理解できる。また、現在はモデル地区に対する助成段階であることから、以下の点を含め、当該協議会での事業進捗の状況把握・結果報告の検証を行った上で判断すべきものと思料。小学校区単位での活動は、自治会組織に比べるとむしろ広範囲となり、目的である「市民と市の協働によるまちづくり」が逆に希薄となりはしないか。屋上屋とならないか。結果として、新旧市民間に軋轢が生じることとならないか。新市民の定着につながるものかといったことの検証が必要。
				柴委員	B	C	B	C	C	C	点から面への展開が見られない
				廣田委員							
				前田委員	B	B	C	B	B	B	前答申は再検討、自治会など既存の地域組織を尊重していない。説明あるも前回と変わらず。再検討が必要。
				松本委員	C	C	D	D	D	D	自治会機能を軽視している。社協、保健センターとの関係が不明。
				西村委員	A	B	B	B	-	B	新規事業。地域社会における自治意識を醸成し、地域コミュニティの充実や活性化を図るための地域まちづくり協議会事業を興すもの。しかし、事業内容からみて現自治会等既存団体等との活動主導のあり方や財源等についての整合性、競合等の課題も考えられ、事業等が既存団体と2重構造とならないよう更に検討が必要と思料する。
7	11	コミュニティ課	流山市民活動団体公益事業補助金	伊藤会長	C	D	D	D	C	C	「適正化実行プラン」の記述は具体性に乏しく、あまりにも簡単に、補助金申請の意欲は見られない。
				山口副会長	A	A	B	B	B	A	市民が流山市の発展・向上の一翼を担うために自発的に種々の事業を企画・提案する、いわゆる「市民参加」の事業であることから今後においても期待できる事業と認識。ただ、その審査に当たっては、市の将来展望を見据えた斬新な視点での審査を期待。
				柴委員		B	C	C	C	C	必要性が感じられない
				廣田委員							
				前田委員	A	A	A	A	A	A	妥当。引き続き継続。
				松本委員	A	A	A	B	B	A	時代のニーズに合った諸活動団体に補助金を交付していると判断。
				西村委員	A	A	A	A	B	A	多岐にわたる市民活動団体の活性化の支援に寄与している。今後さらに事業運営の自立化に向けて啓発が必要である。
8	14	選挙管理委員会事務局	流山市明るい選挙推進事業補助金	伊藤会長	A	B	B	B	A	B	補助金経過年数が13年もたっているのに、その効果が明確でなく、選挙の不正は続いている。
				山口副会長	A	A	B	B	B	A	公職選挙法に基づく一定の役割を担うものであることからも必要な事業と理解。流山市の投票率が県内でも高いということも当該協議会の活動が一定寄与しているものと思料。ただ、実施に当たっては、なるべく金のかからない工夫を凝らした啓発事業などの実施を期待。
				柴委員	B	B	B	C	C	B	
				廣田委員							
				前田委員	B	B	B	B	B	B	国県市町村一体の組織で、事業内容も特段意味があるとは思えない。見直し。少額補助金は別途再検討。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	ミニマム(最低限)予算で政策目的に沿った活動。
				西村委員	A	B	A	A	B	B	選挙啓発活動により投票率向上に実績をあげており必要性認められるが、少額とはいえ市補助金への依存度が高い事業。見直し改善が求められる。

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント	
9	15	社会福祉課	社会福祉協議会事業費補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	「福祉のまちづくり」実現を目指す本協議会の役割は大きく、補助は必要。	
				山口副会長	B	B	B	C	C	B	社会福祉協議会の意義、必要性は理解。ただ、かかる組織への補助のあり方（事業内容、運営費補助（特に人件費補助））については、常に検討を行う必要があるものと思料。特に、かかる法人は、行う事業の性格上、人件費の割合が高くなるという側面を持ち合わせていることも十分理解できるが、それゆえに事業内容と合わせた適切な見直しが必要である。	
				柴委員	A	A	A	B	C	B	社会福祉協議会の理事、役員等を削減すべき	
				廣田委員								
				前田委員	B	C	A	B	C	B	協議会の重要性は理解するが、第二市役所の運営は是正すべき、130の補助のなかで高額の人件費は異常。大胆な見直しが必要。	
				松本委員	A	B	B	C	C	B	事業の全体が見えないので判断が難しい。見直しが必要だろう。	
				西村委員	A	A	A	A	B	A	団体の必要性等は十分に認められるが、長期(42年)固定化している。当市協議会単独の場で論じ、その方向性を見出すことは難しいことではあるが、常に独立機関として自立化に向けた自助努力が必要である。	
10	26	障害者支援課	身体障害者福祉会補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	厳しい社会情勢の中で身体障害者の活動は困難であればこそ、身体障害者の社会参加促進への補助は重要。	
				山口副会長	B	B	A	B	B	B	身体障害者（肢体・視覚障害者）の社会参加を促進する必要性は十分理解。前回、固定化、マンネリ化や事業収入の増加等の改善が要請されていたが、見る限り具体的な改善はなされていない。しかしながら、当該福祉会の収入は、自主事業による収入の増といったことが極めて厳しく、市からの補助金と寄付金収入が主たるものとなっているという実態も理解できる。したがって、常に障害者の立場に立った事業展開を心がけ、補助の長期化による固定化、マンネリ化といった指摘を受けることとならないような支援・活動となることを期待。	
				柴委員	B	B	B	B	B	B		
				廣田委員								
				前田委員	A	A	B	B	B	B	前答申を無視。改善、改革の意思なし、37年間の補助は漫然と補助してきた。事業収入の増加、会員の拡大など改善の余地あり。	
				松本委員	A	B	B	B	B	B	補助事業がマンネリ化していないか。	
				西村委員	A	B	A	B	B	B	身体障害者の社会参加への関わりに寄りし必要性は認められるが、長期化(37年)固定化にある。活動の活性化の基となる事業収入増加策等改善に向け引き続き自助努力が望まれる。	
11	27	障害者支援課	手をつなぐ親の会補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	心身障害者の社会参加・自立に向けて、障害者福祉を目指す「親の会」への補助は必要不可欠。	
				山口副会長	B	B	A	B	B	B	心身障害児（者）の福祉の向上、人権を守るための社会啓発運動を行う「親の会」の活動は十分理解。前回、補助の長期化から固定化、マンネリ化が指摘されたことについては、親亡き後の生活支援、災害発生時の支援といった活動を展開するなど、支援の充実がみられる。今後とも、少ない補助金額ではあるが、固定化、マンネリ化といった指摘を受けることとならないよう、心身障害児（者）の立場に立った支援・活動を期待。	
				柴委員	B	B	B	C	B	B		
				廣田委員								
				前田委員	B	B	A	B	C	B	会の意義必要性は認められるが、改革、改善の意思が感じられない。40年間漫然と補助してきたのではないか。前回に引き続いて見直しが必要。	
				松本委員	A	B	B	B	B	B	補助事業がマンネリ化していないか。	
				西村委員	A	B	A	B	B	B	心身障害児の人権を守るための社会啓発、福祉の向上に寄りし必要性は認められるが、長期化(40年)固定化にある。業収入増加策等団体の自立に向け引き続き自助努力が望まれる。	
12	44	高齢者生きがい推進課	シルバー人材センター補助金	伊藤会長							国・件補助ありのため、ヒアリング対象外として審査せず。	
				山口副会長								国の補助制度であることから評価対象外とした。
				柴委員	A	B	A	A	B	B	実態として高齢の低所得者対策になっている	
				廣田委員								
				前田委員	B	B	A	B	A	A	社会的なシルバー政策として意義がある。妥当、継続。	
				松本委員								
				西村委員							高齢者(定年退職者)の就業支援もさることながら、高齢者の生きがいづくりに大きく寄りしている。長期化であるが継続やむなし。(国の補助あり。)	

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント
1	65	商工課	勤労者互助会補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	中小零細企業の従業員及び事業主の福祉増進と生活の安定は大切なことで、その補助も重要。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	流山市内の中小企業で働く従業員及び事業主の福祉の増進、雇用の安定のためにもその必要性は理解できるが、当該互助会への加入者数からみると公平性の観点から問題があるといわざるを得ない。加入者数の増加策を含めた改善が必要と史料。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員							
				前田委員	B	B	A	B	B	B	毎年の事業内容は変わらない。自主財源の確保、自立した互助会を目指したい。改善を。
				松本委員	A	B	B	B	B	B	中小零細企業の従業員と事業主への市の福祉政策、妥当が見直し必要。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	中小零細企業の従業員・事業主の福祉・健康増進と生活の安定に寄与している。しかし長期(20年)・固定化にある。中小零細企業といえども事業経営は自助努力が基本であり自立に向けて改善が望まれる。
2	81	商工課	中小企業資金融資利子補給金	伊藤会長	A	B	A	B	A	A	厳しい経済情勢下で、中小企業経営の安定化を図る上では、この補助金の役割はわかるが、経過年数43年と長く、改善点も多々ある。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	経営基盤の弱い市内の中小企業者の経営の安定と育成振興を図るといふ補助目的は一定理解できる。しかし、かかる制度(利子補給)は、期間が長期化することから、その効果を含めた不断の見直し・検証が必要とされるものである。したがって、当該利子補給を受けた市内中小企業事業主の経営の安定等に与えた影響・効果などについての市としての効果測定が望まれる。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員	A	B	B	B	B	B	
				前田委員	B	C	B	C	B	B	課が独断で廃止をすればと説明している。担当課は43年間の長期化にも改善、改革の意思は無い。見直しが必要。
				松本委員	A	B	B	B	B	B	中小企業振興策として必要で、おおむね妥当。
				西村委員	A	B	A	A	B	A	・企業の借入金利子の一部について補給し企業負担軽減を図り、経営の安定化に資するもの。 ・制度は長期(43年)で固定化にある。企業経営の基盤強化策は自助努力が基本であるが、市内小零細企業の育成振興のため資金繰り支援の必要性は認められる。近隣都市の同制度との整合性等も考慮しながら、制度の維持は止むをえない。
3	82	商工課	商業振興共同施設維持管理費補助金	伊藤会長	D	D	D	D	-	C	商業振興の名の下に長年(20年超)補助を受けているが、不公平や効果等に疑問は大である。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	「市民の安全・安心なまちづくり」のためにも、一定の補助を行うことは理解できる。ただ、前3年間の電気料金の全額補助の際に奨励した「LEDへの転換」により、23年度からは2分の1補助としたのであれば、このLED化の進展状況を考慮した補助基準・割合とするなどの見直しを検討すべきではないか。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員	A	A	A	B	B	A	
				前田委員	B	B	B	B	B	B	前答申は全額補助は認められないとしている。電気料の50%にしたことは評価、今後も改善に努められたい。
				松本委員	A	A	A	B	B	A	商店街の環境整備と防犯策で妥当。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・市内商業の振興、市民の利便の向上、更には安心・安全なまちづくりに寄与するため、商業団体が管理する共同施設(駐車・駐輪場)の電気料金の一部を補助するもの。 ・長年の制度ではあるが共同施設の維持管理は企業経営の一環であり、この施設管理を市民の安全上の施策につなげることは副次的な効果である。 ・過年度、数回制度の見直しを図り改善されているが、特に今年度は東日本大震災の影響による節電対策等の問題もあり、商工振興策全体の中で新たな観点から見直しが必要である。
4	84	商工課	流山商工会議所事業補助金	伊藤会長	A	A	A	B	B	A	平成22年度に商工会から商工会議所に移行したに伴い、新組織充実と機能強化を図る上で補助金は有効。
				山口副会長	B	C	C	C	C	B	商工会議所の果たす役割等については一定理解できるが、商工会議所自体は自立が基本であるべきことから、自主事業の確立方策の検討を含め、補助対象事業の選別など補助のあり方について全般的に見直す必要があるものと思料。
				柴委員	B	B	B	B	C	B	流山商工会議所は補助金に頼らず自立すべき
				廣田委員	A	B	B	B	B	B	
				前田委員	A	C	A	C	B	A	47年の長期補助金である。今後厳格な審査し補助金に頼らない運営を育てたい。その実行を見守る。
				松本委員	A	A	B	B	B	B	H22独立したばかりで自立化を見守りたい。今までが甘えと見る。
				西村委員	A	B	A	B	B	B	・本市の経済団体である商工会議所が行う商工業者への経営相談、各種講演会等の事業を支援することにより、市内の商工業の振興に寄与するもの。 ・しかし長期(47年)・固定化にあり、会議所の収益事業の拡大を図る等独自財源を探る等により自立に向けて改善が必要である。
5	89	商工課	ふるさと産品協会事業補助金	伊藤会長	A	A	A	B	B	A	郷土産品の発掘・宣伝活動は重要で、補助金も重要であるが、通り一遍でない意欲的・効果的の事業が期待される。
				山口副会長	B	B	B	C	C	B	ふるさと産品を市の内外に普及・宣伝を行う必要性は十分理解できる。しかし、補助期間の長期化と少額補助であることなどを考慮すると、しかるべき段階で事業内容を含めた効果等についての検証を行うべきものと思料。また、事業目的などから「観光協会」との共同事業の検討、さらには統合することなどの検討はできないか。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	ふるさと産品といえるものがない
				廣田委員	A	A	A	A	B	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	趣旨は認められるが、総予算の35%を補助金で占める。繰越金も毎年残している、少額補助金は別途検討。見直し。
				松本委員	A	B	B	B	B	B	本事業への市の取組みが弱い。予算不足、PR不足で見直し必要。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	ふるさと特産品の掘起、宣伝・普及等による地場産品振興の必要性は認められるが、長期(28年)、固定化している。郷土の知名度アップに寄与するためにも、地場産品振興策や観光開発振興策等と連携による活動を深め、新しい視点から郷土にふさわしい産品の研究・開発をする等、即効を狙った事業等の工夫が必要である。
6	90	商工課	観光協会事業補助金	伊藤会長	A	A	A	C	B	A	観光収入への期待から、観光開発は重要で、「ふるさと産品」とのセットを考えるべきである。
				山口副会長	A	A	A	C	C	B	大きな産業を持たない流山市が今後において発展していくためには、「観光開発」は必要性の極めて高いものであるものと思料。したがって、観光協会が行う観光開発、宣伝等の事業は重要なものであることは十分理解できるが、補助期間の長期化や少額補助であることなどを考慮すると、しかるべき段階で事業内容を含めた効果等についての検証を行うべきものと思料。また、事業目的などから、「ふるさと産品協会」との共同事業の検討、さらには統合することなどの検討はできないか。
				柴委員	B	B	B	C	C	C	いつまで運河と加岸本町に頼るのか
				廣田委員	A	A	A	B	A	A	
				前田委員	B	C	C	B	B	B	説明によれば市の観光振興の中心的役割を果たしている。41年間35万円で中心的といえるのか。情性が、見直し。
				松本委員	A	A	A	B	B	B	協会と商工会議所のタイアップ、二大学生を活用すべき、予算不足だ。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	・当市の観光開発、施設整備、観光宣伝事業等を担い、郷土イメージや知名度アップに貢献せんとするもので必要性は認められる。 ・市が提唱する「流山本町の歴史と利根運河の自然」を活かした観光ツーリズム事業を新興するためにも、例えば、ふるさと産品協会等とのタイアップによる流山ブランド産品の掘起しや広く世間にも通用する観光資源の深耕が望まれる。
7	68	農政課	農林水産業の振興に関する補助金(保全管理水田維持管理事業奨励金)	伊藤会長	D	D	D	D	-	C	農業過保護となっていないか。長年補助の特権化とも考えられ、補助金交付を根本から見直すべきときではないか。
				山口副会長	B	C	B	B	C	B	本市農業が「大都市近郊地域農業」という厳しい状況下にあることから、補助の目的・必要性は理解できるが、農業関連補助金は総じて補助期間が長期化している。これまでの補助の効果を含め、国の農業政策との関係、市の財政状況、市民の理解(市人口に占める農業人口からくる公平性の面)など、総合的な見直しが必要と史料。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	流山の都市化と農業の衰退を直視すべき
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	28年間同じ形で補助してきている。しかも答申を無視、廃止を標榜している。その動きが無いのに。見直し。
				松本委員	C	C	C	B	B	B	遊休水田の草刈費用は本来所有者が負担するもの。補助事業のマンネリ化。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・農地の適正な保全策として休耕水田の荒廃化防止・防虫対策等の必要性は認められる。 ・しかし長期化(23年)・固定化しており、農業振興策の全体検討の中で見直しが必要である。
8	69	農政課	農林水産業の振興に関する補助金(高生産推進事業費)	伊藤会長	B	B	B	C	-	B	生産性の高い農業を構築するという意図は認められるが、長期補助の硬直化は好ましくない。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	全般的評価は68に同じ。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	公益性がないのではないか
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	前答申を真面目に検討している。少額補助金を27年間続けているが、本事業は重要な施策であり総合的に見直す。
				松本委員	C	C	C	B	B	B	都市型農業の振興を目指していることは良いとして、補助事業がマンネリ化。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・都市型農業の生産性を高めるため機械化、省力化を推進することには意義はある。 ・しかし長期化(32年)・固定化しており、農業振興策の全体検討の中で自立化に向けて見直しが必要である。

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント
9	70	農政課	農林水産業の振興に関する補助金（青果物価格安定対策事業費）	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	青果物価格安定対策として補助金は必要で、野菜の継続的安定供給が図れ、消費者の負担軽減にも寄与できる。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	全般的評価は68に同じ。市特産物（葱・青葱）の生産振興との考えは、千葉県全体のことであり一定理解するが、当該2品目というのには公平性の面で疑問。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	公益性がないのではないかと
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	答申無視。価格補償であるが、市場の変化に対応する補助金のあり方等を含め、農政全般で総合的に見直すべき。
				松本委員	A	A	A	B	B	A	流山市特産品の葱を県も奨励しており、妥当な政策であり、補助事業だ。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・葱・青葱の市場価格下落時の価格補償のための価格補償事業加入者への補助金。 ・しかし長期(28年)固定化しており、農業振興策の全体検討の中で自立化に向けての見直しが必要である。
10	71	農政課	農林水産業の振興に関する補助金（母生産促進事業費）	伊藤会長	B	D	D	D	C	C	なぜ母だけという疑念が付きまとい、「適正化実行プラン」の作成も、具体性・積極性も無く、簡単すぎて、マンネリ化が伺える。
				山口副会長	C	C	C	C	C	B	全般的評価は68に同じ。「葱・青葱」と同様に公平性の面で疑問。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	流山の母は他県の母に勝てそうもない
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	価格変動が激しいことを理由に、22年度では見直しを検討、自助努力を求めているのに23年度は無い。見直し。
				松本委員	B	B	C	B	B	B	流山の母はPR不足もあり寡聞にして知らない。補助対象か要検討。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・当市の都市近郊型農業としての利点を生かしたイチゴ栽培の振興を図るもの。 ・農業振興策の全体検討の中で自立化に向けての見直しが必要である。
11	73	農政課	農林水産業の振興に関する補助金（農用地有効活用事業奨励金）	伊藤会長	B	D	D	D	-	C	高齢化による担い手不足という現実にもかかわらず、農地にしがみつき、根本的改革を進めない農地に補助は妥当でない。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	全般的評価は68に同じ。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	農業の活性化の道筋が見えない
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	答申を無視。27年間少額補助金として補助してきた。本補助は必要であるが検討、改善が必要。
				松本委員	A	A	A	B	B	A	農地の荒廃を防ぎ、地方農園生活を楽しむことになり有効策だ。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・休耕地の貸し借りを奨励し、遊休・荒廃農地の解消を図るもの。 ・しかし長期(27年)固定化にある。農業振興策の全体検討の中で見直しが必要である。
12	78	農政課	農林水産業の振興に関する補助金（流山市園芸団体連合会）	伊藤会長	C	D	D	D	C	C	補助金の目的・効果も明確でなく、「適正化実行プラン」の具体的内容・改革内容が不明確。
				山口副会長	C	C	B	C	C	B	全般的評価は68に同じ。必要性は理解するが、公平性の面で疑問。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	何をしているのか見えてこない
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	43年間長期にしかも少額補助金として運営されてきた。定額補助で371千円の中途半端な補助金は意味が分からない。
				松本委員	C	C	C	B	B	B	補助対象の事業の事業内容が不明で43年間も補助。マンネリ化ではないか。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・市内15団体の出荷組合で構成する団体間の連携を支援することにより農産物の安定的な流通、野菜等の高品質化、個別農家の所得の向上を図るもの。 ・しかし長期(43年)固定化している。農業振興策の全体検討の中で自立に向けて見直しが必要である。
13	79	農政課	農林水産業の振興に関する補助金（高品質農産物生産事業費）	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	高品質農産物生産と環境にやさしい農業を推進するため、農業補助など、補助金交付も必要。
				山口副会長	B	C	B	B	C	B	全般的評価は68に同じ。必要性は理解するが、公平性の面で疑問。
				柴委員	B	B	A	C	C	B	流山ならではの農産物を期待したい
				廣田委員	B	A	A	A	B	A	
				前田委員	B	C	B	B	B	B	本事業の必要性は認めるが、27年間の補助で毎年度検討も無く惰性的に補助しているようで見直しが必要。
				松本委員	C	C	C	B	B	B	補助金为名目を変えて出されている感があり、要見直し。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・農産物の高品質化を図るため、水稲土壌の病中防除、ネギ、青ネギの赤錆び病等の共同による薬剤購入を補助するもの。 ・しかし、長期(27年)固定化している。農業振興策の全体検討の中で自立に向けて見直しが必要である。

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント
1	119	図書・博物館	指定無形民俗文化財保存事業補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	指定無形民俗文化財の重要性、したがって補助金の必要性も認められるが、市の観光行政との協調や積極的宣伝が望まれる。
				山口副会長	A	A	A	B	B	A	本市の指定無形民俗文化財の保存伝承ということは必要なことと理解できる。ただ、長期にわたっている補助事業であることから、当該伝統行事の必要性を前面に出した周知・広報や観光事業とタイアップした活動を行うなど、市民の理解を得られるようさらなる改善・工夫を期待。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員	A	A	A	A	A	A	
				前田委員	A	A	A	B	B	B	市行政の指導性を強化。妥当。
				松本委員	A	A	A	B	A	A	市指定無形民俗文化財で補助に該当し、妥当。効果面が弱い。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	一地域の祭事ではあるが、市内無形文化財3行事に対する保存会事業支援。長期(35年)で、固定化にあるが、市民共有財産として伝統無形文化財保存の必要性は認められ、継続はやむを得ない。
2	106	子ども家庭課	私立幼稚園園児補助金	伊藤会長	B	B	C	B	-	B	私立幼稚園だけに長年にわたる補助金交付は疑問であり、また所得制限無しの際はまき補助は好ましくない。
				山口副会長	B	C	A	B	B	B	子育て世代に選ばれる流山市となるためにも一定必要な事業と理解できる。ただ、公立幼稚園との格差を正を図るということだけでは、公平性の観点から疑問があるので所得要件の導入も検討すべきものと思料。また、近隣市と比較すると低い助成額となっている。今後の助成のあり方については、待機児童の解消策など「子育て政策」全体の中での中長期的検討を期待。
				柴委員	*	*	*	*	*	*	
				廣田委員	A	A	A	A	A	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	公立幼稚園の廃止を前提に計画を立てているようである。前年度の答申を踏まえ、検討の余地がある。
				松本委員	A	A	A	B	A	A	幼稚園政策は、公立から私立へするのだから補助金は一律2万円へ。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	・私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るもの、子育て支援策の一環でもあり必要性は認められる。 ・しかし、当補助金は長期化(30年)、高額・固定化にある。 ・少子化社会の中で子育て支援の期待は高まっており継続はやむを得ないが、これからの子育て支援のあり方(公・私立幼稚園の設置方針、支給対象者への所得制限導入等)の検討に合わせて総合的に見直していく必要がある。
3	100	指導課	小中学校教育研究会補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	事業の重要性、補助金の必要性は十分認められるが、「適正化実行プラン」改革内容の記述に具体性が無く、不十分である。
				山口副会長	A	A	A	B	B	A	本市小中学校教職員の資質の向上、児童生徒への指導力の向上に資するという事業目的は十分に理解できる。ただ、当該研究会の成果についての公表のあり方に工夫を要するものと思料。必要な事業であり、かつ一定の成果が見られる事業でもあるので、積極的公開を期待。
				柴委員	B	B	B	C	C	C	研究会の成果が公開されていない
				廣田委員	B	A	A	B	A	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	研究活動の実績が公開されていない。各年度の計画も前年度踏襲である。見直し。
				松本委員	A	A	A	B	A	A	23校の教職員の教育研究会への補助は妥当。県より市に厚く。
				西村委員	A	B	A	A	B	A	・市内小中学校23校の教職員に対する研究会・研修費等の補助で、教職員のスキルアップへの必要性は認められる。長期(20年)で、事業も固定化にあるが、教職員の資質維持・向上に向けた継続的な支援は必要である。
4	101	指導課	研究指定校活動事業費補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	事業の重要性、補助金の必要性は十分認められるが、「適正化実行プラン」改革内容の記述に具体性が無く、不十分である。
				山口副会長	A	B	A	B	B	A	本市として、教育研究を深め、教職員の資質の向上を図ることは必要なことと思料。当該事業についても、一定の成果が見られることから、かかる活動の成果を広く公開すべきものと思料。
				柴委員	B	B	B	B	C	C	各校持ち回りの観が否めない
				廣田委員	A	A	A	B	A	A	
				前田委員	A	B	B	B	B	B	18年度から見直しを標榜しているが、各年度も殆ど変わらない。見直し。
				松本委員	A	A	A	A	B	A	本件は実施要綱には補助金を交付となっているが、委託研究ではないが。
				西村委員	A	B	A	A	B	A	・市教育委員会から指定を受けた小中学校6校について、教育研究を深め、教職員の各教科等のスキルアップを図るもので必要性は認められる。長期(20年)で、事業も固定化の流れにあるが、教職員の資質維持・向上に向け継続的な支援は必要である。
5	103	指導課	進路指導対策費補助金	伊藤会長	A	B	A	C	C	B	進路指導が受験対策に偏らないよう、資料(図書)収集等をチェックする必要がある。個性を伸ばすために努力すべきである。
				山口副会長	A	A	B	B	B	A	生徒の希望と能力に応じた適切な進路指導を行う必要性は誰もが認める重要なこと。ただ、当該事業の成果について、今ひとつ見えてこない。保護者等の関心も強い事業であると思われるので、単に情報の提供といったことにとどまらず、進路指導としての具体的な成果を公開すべきものと思料。
				柴委員	C	C	C	C	C	C	無駄
				廣田委員	B	A	A	B	A	A	
				前田委員	A	B	B	B	B	B	再評価を標榜しているが、各年度再評価の具体性が無く、形式的な再評価と言える。見直し、再評価。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	進路指導は市負担で行うべきだが、学校(生徒)の負担が過大だ。
				西村委員	A	B	A	A	B	A	・教育支援一環として、市内中学生徒の進路指導等に必要の情報収集、生徒への個別指導等事業支援の必要性は認められる。長期(20年)で事業も固定化の流れにあるが、継続支援は必要である。
6	108	生涯学習課	文化協会活動事業費補助金	伊藤会長	A	B	A	C	C	B	補助が長期にわたりマンネリ化の危惧があるため、年間補助額に限度を設け、その枠内での公募制を考えるなど、自立化への努力が必要。
				山口副会長	B	B	C	C	C	B	本市の芸術文化活動の普及と振興を図る必要性は理解できるが、補助期間が41年と長期にわたっていることから、固定化・マンネリ化した補助事業とみられる。したがって、一定の段階で事業自体の検証を行うことが必要であると思料。また、協会の自主・自立を目指した自前収入の確立方策などの検討も行うべきものと思料。
				柴委員	C	C	B	B	B	B	補助金の固定化、既得権化
				廣田委員	B	B	A	A	B	B	
				前田委員	A	C	A	B	B	B	公募制の検討は、改善を目指し自立自助に努力していることは評価。41年間の長期の補助はさお検討。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	補助金交付期間が41年と永いが20団体分の補助なら仕方なし。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・市文化・芸術の普及・振興を図るための必要性は認められる。事業については、数回(H17年から4回)にわたり見直しをし、これ以上の削減は困難としている。しかし、支援はかなり長期(41年)で固定化の現状にあり、自立に向けた地道な改善が必要である。
7	109	生涯学習課	美術家協会活動事業費補助金	伊藤会長	A	A	A	C	C	B	補助経過年数が30年を超えていることもあり、細部にわたって改善点などを見直す必要がある。
				山口副会長	B	B	C	C	C	B	本市の美術文化活動の普及と振興を図る必要性は理解できるが、補助期間が32年と長期にわたっていることから、固定化・マンネリ化した補助事業とみられる。したがって、一定の段階で事業自体の検証を行うことが必要であると思料。また、協会の自主・自立を目指した自前収入の確立方策などの検討を行うべきものと思料。
				柴委員	C	C	C	B	C	C	ヒアリングは理解したが一部の層に偏向
				廣田委員	B	B	A	A	B	B	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	前答申は改善の余地あり。少額補助、改革の余地なしを表明、今後も支援するとしている。改善すべき。
				松本委員	A	A	A	A	B	A	会員だけでなく一般公募者が増加しており推奨は良好。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・絵画、彫刻、陶芸等の芸術活動を通じ、市民の文化意識の高揚、生涯学習の推進等に寄与、必要性は認められる。事業内容等について、答申を受けて委託方式への移行を含めて検討したが、これ以上の改善には現段階では限界があるとしている。しかし、長期(32年)固定化の傾向にある現状では、引き続き自立に向け地道な改善が必要である。
8	110	生涯学習課	文化祭実行委員会活動事業費補助金	伊藤会長	A	B	A	A	A	A	地元文化祭の重要性は認められるが、「適正化実行プラン」の記載からは、具体的内容が不明であり、また開催地域も偏ることなく、小規模でも各地での開催が望ましい。
				山口副会長	B	B	B	C	C	B	本市における芸術文化等の創作活動を奨励するための事業の必要性と当該事業に市として一定のかかわりを持つという必要性も理解できる。ただ、23年度においては、「展示部門」の会場変更、プログラムを全戸配布から自治会回覧に変更するなど、事業内容には一定の改善が見られるが、補助金額は変わっていないのは疑問。また、補助期間が32年と長期となっていることから、固定化・マンネリ化した事業とみられるので、一定の段階で事業自体の検証を行うことが必要であると思料。また、併せて自前収入の増加策などの検討を期待。
				柴委員	B	B	C	C	C	C	文化祭の役割は終了しているのではないが
				廣田委員	A	A	A	A	A	A	
				前田委員	A	B	A	A	B	B	18年度以降10%削減など評価されたが、54年間の長期補助金の問題を含め改善の余地あり。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	市の一大イベントであり市民参加者が広範囲で補助金は妥当。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・市民の芸術・文化等の成果を発表する場としての文化祭の意義は認められる。 ・展示会場の変更、プログラム配布方法の改善等、事業について数回にわたり見直しを行う等の自助努力は見られるものの、補助金は長期(32年)化、固定化にある現状であり引き続き自立に向け改善が必要である。

順番	補助金番号	所属課	名称	委員名	公益性	公平性	必要性	効果	適切性	総合評価	コメント
9	113	生涯学習課	青少年育成会議活動事業補助金	伊藤会長	A	B	A	A	-	A	青少年健全育成への補助は必要であるが、長期にわたる補助金交付もあり、具体的改革を検討すべき。
				山口副会長	B	C	C	C	C	B	青少年の健全育成という趣旨・目的は十分に理解できる。ただ、事業の成果がいまひとつ見えてこないこと、補助期間が33年と長期にわたっていること、全額に近い補助額となっていることなどから、見方によっては、各団体への毎年同様の助成を行うというマンネリ化したものともいえるので、何らかの改善・工夫は必要と見られる。また、青少年問題は、地道な活動が必要であるというところは理解できるが、補助事業である以上、目に見える一定の成果も必要であることから、一定の段階で当該活動の検証を行うことが必要なことと見られる。
				柴委員	B	B	B	C	B	B	具体的な活動が見えない
				廣田委員	A	A	A	B	A	A	
				前田委員	A	B	B	B	B	B	運営費の98%が補助金であり、非常に珍しい。33年間の補助を含め改善すべき。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	青少年育成事業は本来市が中心になって行っていくべきものだが、妥当。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	・青少年の健全な育成を図るため活動の必要性は認められる。この団体は「もともと市が依頼して立ち上げたもの」とし市への依存度の高さを訴えており、事業費の大半を補助金に依存し長期(33年)・固定化の流れにあるが、今なお青少年を取り巻く社会環境が厳しく変化している実情においては継続はやむを得ない。
10	116	生涯学習課	子ども会育成連絡協議会活動事業補助金	伊藤会長	B	C	C	C	C	C	半世紀近い長期補助で子供の無差別保護(所得制限なし)をするよりは、厳しい経済情勢下で苦境に立たされている教育費支援の方がはるかに重要と思われる。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	子どもの健全育成を図るための活動の必要性は十分理解できる。ただ、補助期間が46年と長期にわたっていることや、対象人員数などからみて固定化・マンネリ化と同時に公平性の面でも疑問。構成人員数の増加策を含め、一定の事業の改善がなければ補助事業としての継続に疑問。
				柴委員	B	C	B	C	C	C	子ども会の活動が見えない
				廣田委員	A	A	A	B	A	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	公募制は望ましいと言いながら、具体性はない。活性化を含め、46年間の補助全体を見直すべき。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	補助期間46年と永いが、補助金なしでは成立しない事業で仕方なし。
				西村委員	A	B	A	B	B	A	・市内の子供会を統括し、各子供会に対する指導や支援をする協議会の活動の必要性は認められる。 ・補助金が長期(46年)化、固定化している中で、平成17年度から改善努力したが、これ以上は困難であると訴えている現状、収入拡大への自助努力は望まれるが、継続はやむを得ない。
11	117	生涯学習課	青少年指導センター補導員連絡協議会活動事業補助金	伊藤会長	A	A	A	A	A	A	青少年の非行防止や環境浄化活動が重要であることはいうまでもなく、これらに対する補助金交付は必要。
				山口副会長	A	A	A	B	B	A	青少年の非行防止や青少年社会環境浄化活動を展開している当該協議会への補助は妥当なものと思料。市が直接担うことも考えられるが、費用対効果の面からも現行補助制度の方が望ましいことから継続が妥当と思料。
				柴委員	B	C	C	C	C	C	
				廣田委員	A	A	A	A	A	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	毎年度の計画を見ると、新たな計画は無く、31年間の長期補助金体制を望んでいるかに見える。見直し。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	青少年の補導員制度は、なくせないもので妥当。
				西村委員	A	A	A	B	B	A	・市内の中学校区を単位に支部を組織し、青少年の非行防止活動と社会環境浄化活動を行い青少年の健全育成を図るとする必要性は認められる。 ・補助金は、長期化(31年)固定化にあるが、今なお青少年を取り巻く社会環境が厳しく変化している実情においては継続支援はやむを得ない。
12	124	生涯学習課	体育協会活動事業費補助金	伊藤会長	B	B	C	B	B	B	半世紀を越える長期補助金と、450万円にもなる補助金額、そして勝ち負けのスポーツ競技にこれだけの補助が必要かと疑問視される。ただ改革への意欲は伺える。
				山口副会長	B	C	B	C	C	B	市民スポーツの普及・振興という趣旨・目的は理解できるが、補助期間が51年と圧倒的に長期の補助事業となっていることから、単なる各種スポーツ大会などへの固定化・マンネリ化した補助と見られかねない。スポーツ基本法の制定など、スポーツに対する理解は深まってきているが、公平性や適切性の観点からも、これまで行ってきた活動の成果について広く公開するとともに、自前収入の増加策を含めた事業内容の改善・工夫に期待。
				柴委員	B	B	C	C	C	C	文化祭同様、役割は終了している
				廣田委員	A	A	A	A	A	A	
				前田委員	A	B	A	B	B	B	51年間当然のように補助しており、行政も追認している。既得権益そのものである。総合的に見直す。
				松本委員	A	A	A	A	A	A	スポーツ振興策で妥当だが、補助期間51年は永い。
				西村委員	A	B	B	B	B	B	・市民へのスポーツ普及・振興を目的とし、21団体からなる体育協会の指導者育成の必要性は認められる。しかし、事業運営は補助金への依存度が高く、しかも長期化(51年・全補助金中最長)固定化にある。市政のスポーツ振興政策全体のあり方の検討と合わせ、自立に向け改善が必要である。